

西地区児童館 放課後子ども教室だより

No.4

令和7年3月31日

【合言葉 きまりを守り 元気にあいさつ】

◆6年生のみなさんご卒業おめでとうございます。

ようやく春めいてきましたが、一年過ぎるは早いもので、18日は西部小学校の卒業式です。6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。児童館利用の皆さんは限られた人たちでしたが、年下の人たちの面倒をよく見てくれました。

年下の人たちは、6年生のお兄さんお姉さんたちが大好きでしたね。



一番感心したのは、防災教室を開いてくれ、自分たちで調べたことを年下のみんなにわかりやすく発表をしてくれたことです。とても立派でした。

中学校に進めば、最下級生になるわけですが、小学校で培った学力はもちろん、児童館で身につけた力を大いに発揮してください。

これから皆さんの活躍を児童館職員全員で期待しております。暇を見て児童館に遊びに来てくださいね。

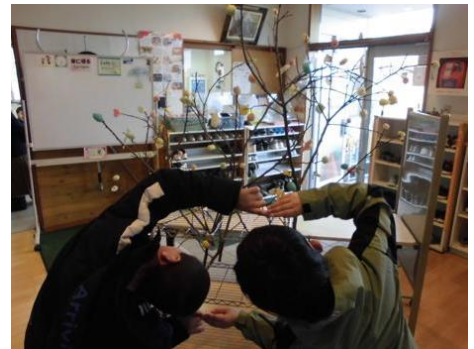
◆体験教室を開催しました

【1月】

○伝統行事のまゆ玉づくり（1月8日） 参加者：34名（全学年）

児童館職員の掛川先生に講師をしていただき、まゆ玉づくりをしました。

始めに掛川先生が種をつくる様子を見学しました。その後、予め作っておいた4色のまゆ玉を子どもたちに配り、いろいろな形を作ってもらいました。色を組み合わせ、凝った作品を作る子もいました。職員が蒸した後に半分を食べ、残りを飾りました。子どもたちは「おいしかった」「思ったような形にできなくて悔しかった」と感想を言っていました。



○節分（1月29日） 参加者：100名（全学年）

100名の子どもたちが参加しました。職員が用意した新聞紙の鬼の帽子を子どもたちに一つずつ配り、それぞれの考える鬼を製作しました。その後、遊戯室で鬼の的に向かって邪気を追い払い、良い一年になるようお願いを込めて思いっきりボールをぶつけました。子どもたちは、「ゲーム時間を短くする鬼を退治したい」「昼に眠くなる鬼を倒したい」「もっとボールを投げたかった」と感想を言っていました。



【2月】

○手話教室（2月19日） 講師：言語普及協議会の皆さん7名 参加者：24名（高学年）

講師として小川さん、田中さん、手話通訳の甲斐さん、言語普及協会の皆さんを

お招きして手話を教えていただきました。ろうあ者を知ろう〇×クイズや杭州アジ

アパラ競技大会に砲丸投げで出場された田中さんのお話に、みんな興味津々でした。手話の他にも口の動きを見て言葉を読む口語（こうご）を用いるため、話すときはできればマスクを外してゆっくり口を動かしてほしいというお話や「パパ」「ババ」を口語で見分けるチャレンジなどを通して難しさを実感しました。手話を使って歌も歌えるという実践もしていただき、みんな「鬼のパンツ」を手話で表現しながら楽しんで歌



ってみたいりました。手話を以前に体験した児童もあり「プリンの手話は知っているけど、ゼリーがわからない」という質問がありました。講師の方からプリンの手話をしながら、口語でゼリーと言う人もいれば、ゼリー飲料を吸うゼスチャーで伝える人もいると教えていただきました。また、「音が聞こえないのになぜ鬼のパンツのリズムがわかるの」という質問もありました。講師の方は「聞こえ方は様々でほんの少し聞こえる人もいるし、まったく聞こえない人もいる、歌っている人の様子を見てリズムに乗ったり、カラオケで振動を感じたりしてリズムに乗る」というお話をしてくださいました。また、「鬼のパンツ」を『パン』を拍手で、『ツ』をVサインでするのが面白かった。という感想もありました。児童館の手話ポスターを後で確認する児童もあり、手話を覚えてコミュニケーション方法を知ろうとする意欲的な姿が見られました。

【3月】

○マジックショー（3月5日） 講師：ブラックサタン 参加者：102名（全学年）



西地区児童館でみなおなじみのブラックサタンさんですので、仮面をつけたブラックサタンさんが入ってきたとたん目を輝かせてマジックする手元を集中していました。ハトが飛び出たり、ハンカチの色が変わったりするたびに歓声を上げていました。

マジックのトリックが気になり何度も「何で」「どうして」と前のめりになり質問がたくさんマジック中に出て

いました。子どもたちから「種明かししてー」の声がけにうまく答えながらも手元が見えず「わぁー」とキラキラの笑顔で一生懸命見ていました。青いテープから前に出ない約束もみんなですりながらみている一年生。「何度ショー見てもトリックがわからないや」と嬉しそうに言っていた高学年。テーブルが空中に上がるシーンではみんなで下をのぞきながら「すごーい」と一番声が上がり盛り上がりました。ブラックサタンさんが帰る時も追いかけて「教えてー」の姿がかわいらしかったです。

◆みらい子育てクラブの皆さま、一年間ご協力ありがとうございました。

本年度、みらい子育てクラブの皆さまには、子どもたちのために夏まつりのイベントを企画され、ご尽力いただきました。横山会長さんをはじめ、役員の皆さまに感謝申し上げます。

◆一年間を振り返って

一年生は、新しい環境に期待と不安を覚えながら登所してきた日から、早くも一年が経とうとしています。最初は、新しい仲間や放課後子ども教室のルールを覚えるのに必死だった子どもも、今や「先生片付けの時間だよ」と職員に声をかけてくれたりする姿も見られるようになりました。また、高学年が低学年といっしょに遊んでいる微笑ましい姿も多く見られました。

保護者の皆様には放課後子ども教室の運営にご理解とご協力をいただきました。

心より感謝いたします。来年度も引き続きよろしくお願い申し上げます。